

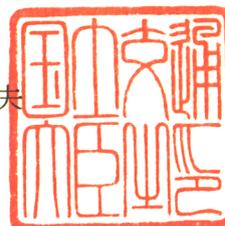


## 認定書

国住指第 1241 号  
平成 22 年 10 月 28 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 馬淵 澄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

### 記

4. 認定番号

PS060WL-0519

5. 認定をした構造方法等の名称

給水管・排水管・ケーブル・電線管／熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てんシート材／シリコン系シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

6. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：  
給水管・排水管・ケーブル・電線管／熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てんシート材／シリコン系シーリング材充てん／壁耐火構造／貫通部分（中空壁を除く）

2. 申請仕様の寸法等：  
申請仕様の寸法等を表1に示す

表1 申請仕様の寸法等

項目		申請仕様
開口部	形状	円形(φ70mm以下)
	面積	0.00385m <sup>2</sup> 以下
各種配管と壁との隙間寸法(クリアランス)		2~10mm
占積率 (開口面積に対する配管又は電線管断面積の総合計の割合)		85.8%以下
貫通する壁の構造等		片面強化せっこうボード重張／軽量鉄骨下地間仕切壁 (国土交通大臣認定 耐火構造：FP060NP-0007、 FP060NP-0046、FP060NP-0049、FP060NP-0185、 FP060NP-0189、FP060NP-0192、FP060NP-0233、 FP060NP-0258) 厚さ 42mm以上

3. 申請仕様の主構成材料：  
申請仕様の申請仕様の主構成材料を表2及びケーブル・管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

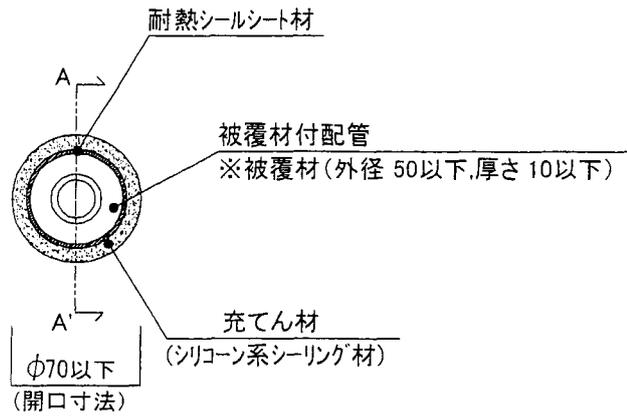
項目	申請仕様		
耐熱シールシート材	しん材	材料	熱膨張材・合成ゴム混入無機質充てんシート材
		寸法	厚さ 2.3(±0.2)mm以上 幅 55(±2.0)mm以上 長さ 配管又は電線管の周長1周以上
		密度	
		組成(質量%)	
	表面材 (充てん材接触側)	材料	アルミニウムテープ 種類：(1)~(4)の一 (1) ポリオレフィン系繊維強化アルミニウム系テープ (2) アルミニウム系テープ (3) ガラス繊維強化アルミニウム系テープ (4) なし
		厚さ	0.35(±0.2)mm以下
充てん材	材料	建築用シーリング材 (JIS A 5758) 種類：シリコン系シーリング材	
	充てん量	壁表面から42mm以上	

表3 申請仕様のケーブル・管の構成材料

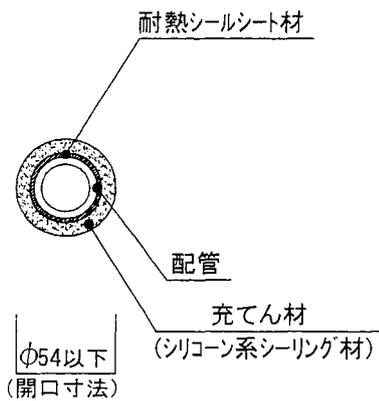
項 目		申 請 仕 様					
給水管・排水管・電線管（以下、配管という）	被覆材付配管	配管の種類：①、②又は③	①	材料	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、JIS K 6787）		
				外径	27.0mm 以下		
				厚さ	3.25mm 以下		
			②	材料	ポリブテン管（JIS K 6778、JIS K 6792）		
				外径	27.0mm 以下		
				厚さ	2.90mm 以下		
			③	材料	金属強化ポリエチレン管 管の構成 外層・内層：ポリエチレン系樹脂 中間層：アルミニウム		
				外径	25.1mm 以下		
				厚さ	2.90mm 以下		
		被覆材	材料	種類：①～⑨の一 ①ポリエチレンフォーム（JIS A 9511） ②ポリスチレンフォーム（JIS A 9511） ③硬質ウレタフォーム（JIS A 9511） ④フェノールフォーム（JIS A 9511） ⑤ポリプロピレンフォーム ⑥難燃ポリオレフィンフォーム（酸素指数：21以上） ⑦合成ゴム系フォーム（ニトリゴム、スチレンゴム、クロロブレンゴム、エチレンプロピレンゴム） ⑧グラスウール（JIS A 9504） ⑨ロックウール（JIS A 9504）			
	寸法			外径50mm以下、厚さ10mm以下			
	さや管付配管・ケーブル	内管（挿入管）・ケーブル（挿入ケーブル）	条件	組み合わせ条件：(1)、(2)又は(3) (1) ①及び④の組合せ (2) ②及び④の組合せ (3) ③及び④の組合せ			
				①	材料	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、JIS K 6787）	
					外径	27.0mm 以下	
			厚さ		3.25mm 以下		
			②	材料	ポリブテン管（JIS K 6778、JIS K 6792）		
				外径	27.0mm 以下		
				厚さ	2.9mm 以下		
			③	材料	金属強化ポリエチレン管 管の構成 外層・内層：ポリエチレン系樹脂 中間層：アルミニウム		
				外径	25.1mm 以下		
厚さ				2.90mm 以下			
④			材料	ケーブル			
			導体（又は芯線）の断面積	1本あたり	1.25mm <sup>2</sup> 以下		
				総合計	3.75mm <sup>2</sup> 以下（銅等の金属類）		
		導体（又は芯線）の種類	銅、アルミニウム、その他これらに類する不燃性の材質				
	総有機量	4.8g/m 以下					
絶縁体	塩化ビニル系樹脂	厚さ	0.8mm 以下				
さや管	材料	合成樹脂製可とう電線管（JIS C 8411）					
	外径	42mm 以下					
	種類	CD管又はPF管					
直配管	配管の種類：①、②又は③	①	材料	架橋ポリエチレン管（JIS K 6769、JIS K 6787）			
			外径	34.0mm 以下			
			厚さ	4.0mm 以下			
		②	材料	ポリブテン管（JIS K 6778、JIS K 6792）			
			外径	34.0mm 以下			
			厚さ	2.95mm 以下			
		③	材料	金属強化ポリエチレン管 管の構成 外層・内層：ポリエチレン系樹脂 中間層：アルミニウム			
			外径	32.1mm 以下			
			厚さ	3.1mm 以下			

4. 申請仕様の構造説明図：

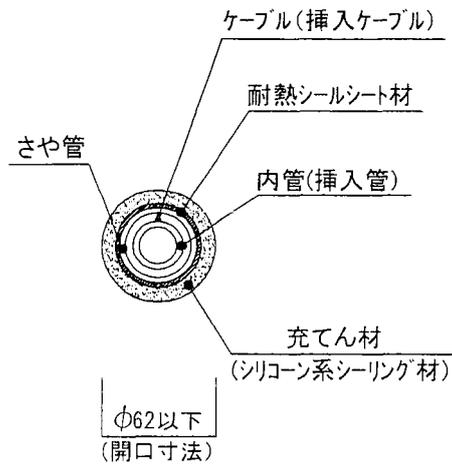
申請仕様の構造説明図を図1～図3に示す。



被覆材付配管の場合



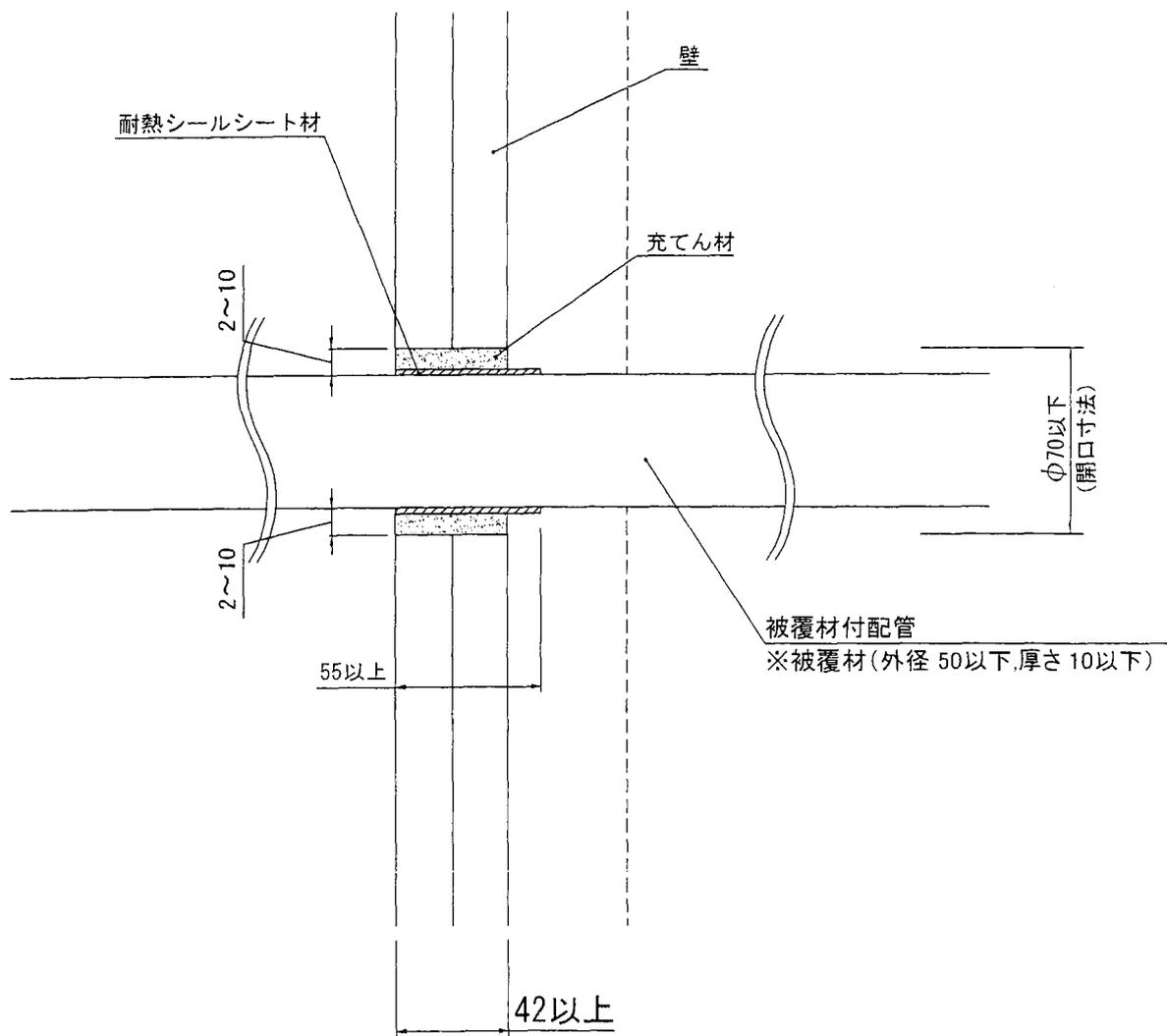
直配管の場合



さや管付配管・ケーブルの場合

立面図

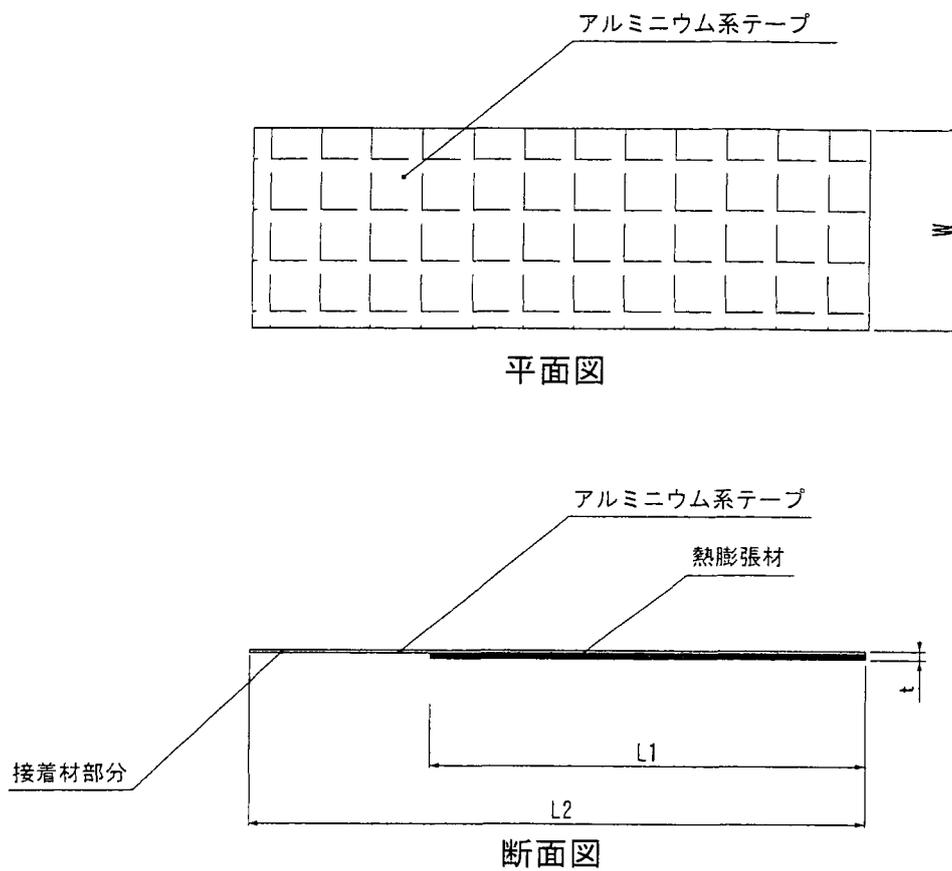
図 1 構造説明図



A-A' 断面図

被覆材付配管の場合

図2 構造説明図



耐熱シールシート材の詳細図

L1	L2	w	t
配管又はさや管周長1周以上	235以下	55(±2)以上	2.3(±0.2)以上

注) L1がL2と同じ場合は、アルミニウム系テープにて固定

図3 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図4及び図5に示す。

施工は、以下の手順で行なう。

(1) 貫通開口部の設定

配管サイズ、本数及び占積率を考慮して貫通開口部を設ける。

(貫通させる配管外径に4～20mm加えた値を開口径とする。)

(2) 配管の設置

配管の設置を行い、支持・固定する。

(3) 耐熱シールシート材の巻き付け

耐熱シールシート材を配管に対して一周以上巻き付けてアルミニウムテープ部分を張付けて固定する。この時、耐熱シールシート材と配管との間に隙間がないように注意し確認する。

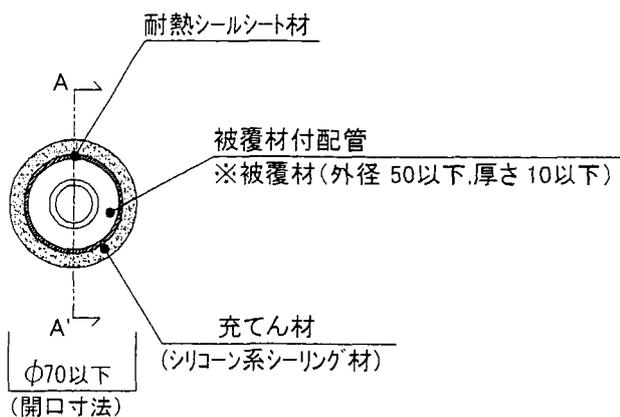
(4) 耐熱シールシート材の所定の位置への設置

耐熱シールシート材を配管に沿わせて耐熱シールシート材の先端が壁面と同一面になるようにスライドさせる。

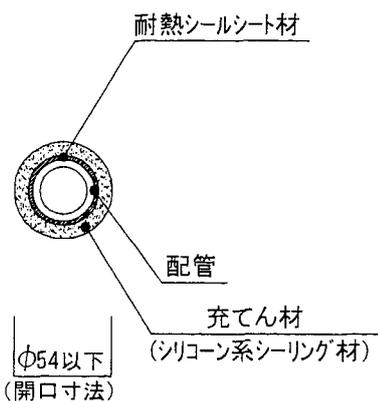
(5) 充てん材の埋め戻し

貫通開口部と耐熱シールシート材の隙間に、壁厚さ42mm以上充てん材で埋め戻しする。

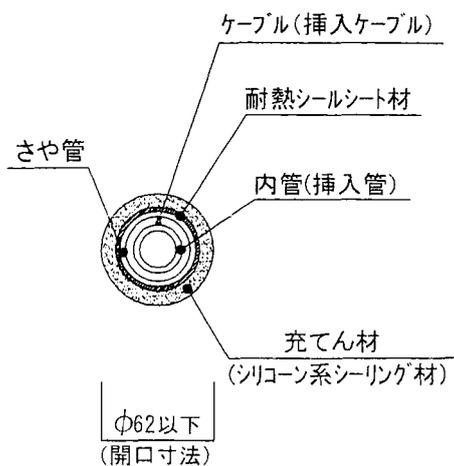
埋め戻し部に隙間が無いことを確認して仕上げる。



被覆材付配管の場合



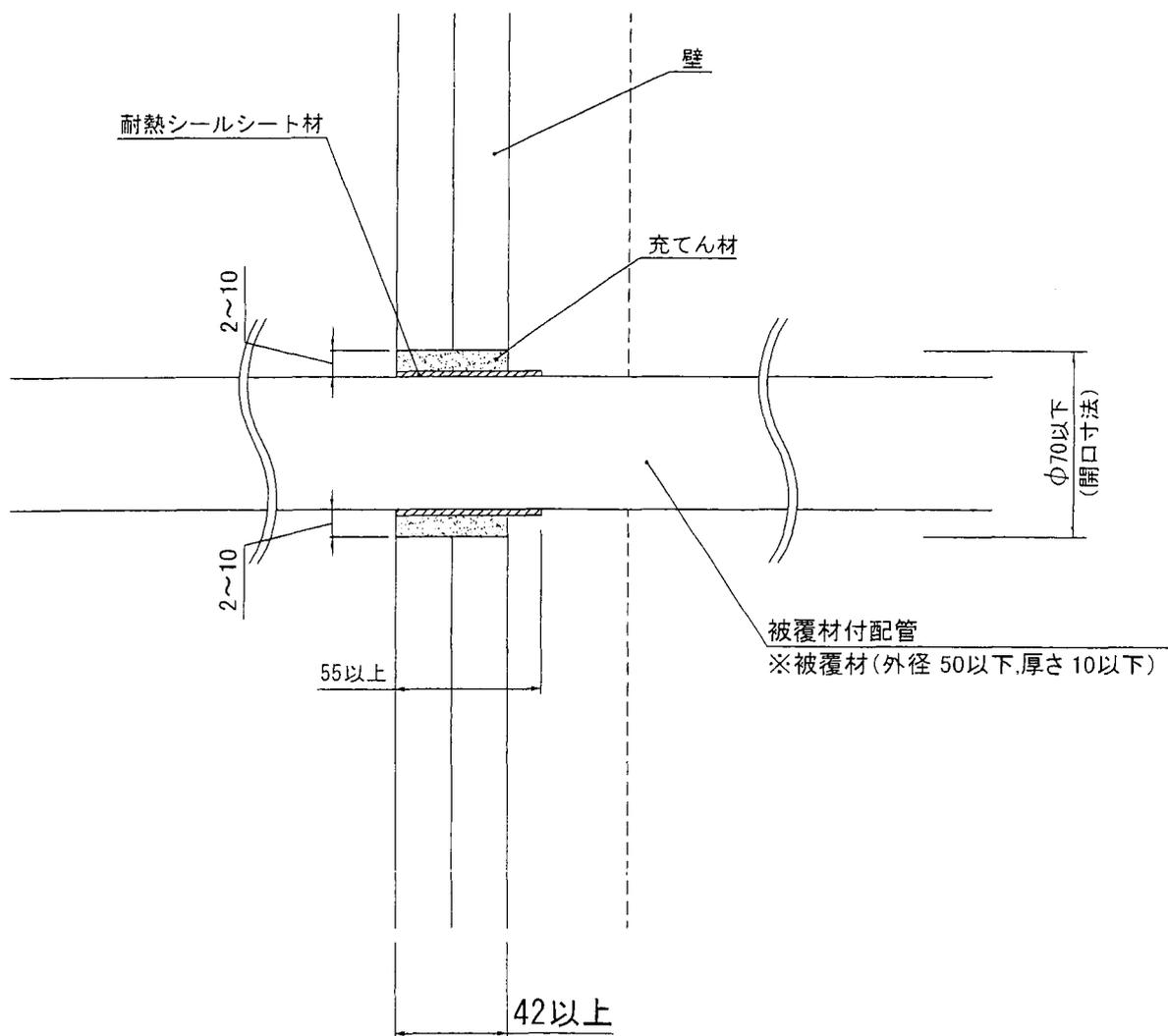
直配管の場合



さや管付配管・ケーブルの場合

立面図

図4 施工図



A-A' 断面図

被覆材付配管の場合

図5 施工図